

あ と が き

ここに『長島は語る 岡山県ハンセン病関係資料集・前編』をお届けします。

平成十三年度に「岡山県のハンセン病対策を振り返り正しい理解を進める委員会」から、石井正弘知事に意見書が提出され、その中で「関連資料・史料の収集・蓄積」が提言された。これを受けて平成十四年度に「岡山県ハンセン病問題関連史料調査委員会」が設置され、その下に調査の「ハンセン病問題関連史料調査専門員」が設置・委嘱され、具体的な調査活動が開始された。

調査の事務局は、岡山県保健福祉部健康対策課が担当し、嘱託員も委嘱されて推進体制が整備された。調査専門員は若い歴史研究者を中心に構成され、また委員会の構成員である入所者自治会代表、園長、弁護士会代表の方々も一体となって、資料調査・検討に参加する体制で活動が開始された。とくに、長島愛生園入所者自治会の中尾伸治、邑久光明園入所者自治会の木谷昌弘の両委員は、資料の収集段階からともに汗を流してこられた。こうして両園と両園自治会の全面的協力のもとで、この資料集は刊行の運びとなったのである。

調査委員会の発足当初の計画では、資料集と通史編の二冊を刊行する予定であった。ところが資料の所在調査を進めていく過程で、予想外に資料が豊富に残されていることが判明した。豊富な資料群は、隔離の実態などをより具体的かつ鮮明に検証できることにもつながることから、これらの資料をこそ世に問うべきで、解説を付して二冊とも資料集とするのがよいのではないかとの共通理解が生まれた。ハンセン病関係の通史としては、国の最終報告がきわめて詳細にまとめられていることを踏まえて、岡山県ハンセン病問題対策協議会での協議においても、資料編を二冊刊行することは妥当であると承認され

るにいたった。

掲載する資料の選択、編集段階になって当面した最大の課題は、個人情報保護であった。私たちはハンセン病問題を人権問題としてとらえ、偏見・差別の解消を願う立場を基本として取り組んだ。弁護士らの委員からは、「資料集掲載の実名などの扱いについて」の報告があり、これをもとに人権擁護の立場から地名・人名の取り扱いを検討した。入所者などに関する情報については、故人の情報の取り扱いも含めて愛生・光明両園自治会などの意見を尊重して編集作業を進めてきた。

前編は、主として戦前期の資料を中心としたが、教育・文化・宗教等に関するものは、後編にまとめて掲載することにした。

このような経過のもとに刊行された本書は、ハンセン病問題についての関係諸科学の研究にとって、重要な意義を持つ珠玉の資料が掲載されている。本書が、教育・啓発に活用され、ハンセン病問題の正しい理解が進められるものと確信している。

資料を保存してこられた関係機関・各位に対して深甚の敬意を表するものである。

最後に、調査委員会の要望を前向きにしっかりと受けとめ承認していただいた、県当局に対しても深く感謝いたします。

平成十九年二月

岡山県ハンセン病問題対策協議会会長

岡山県ハンセン病問題関連史料調査委員会委員長

南智

関係者一覧 (敬称略・順不同・平成十九年二月)

【岡山県ハンセン病問題関連史料調査委員会】

委員長

南 智

長島愛生園入所者自治会

中尾伸治

邑久光明園入所者自治会

木谷昌弘

岡山弁護士会

則武 透

岡山県立記録資料館館長

在間宣久

総務部総務学事課長

保坂 満

保健福祉部健康対策課長

二宮忠矢

【ハンセン病問題関連史料調査専門員】

南 智 (元ノートルダム清心女子大学教授)

在間宣久 (岡山県立記録資料館館長)

山下 洋 (邑久町史編集委員)

木下 浩 (岡山市立第一藤田小学校教諭)

西尾睦己 (岡山県立邑久高等学校教諭)

村上 岳 (瀬戸内市教育委員会)

松岡弘之 (大阪市史料調査会)

吉田シヅカ (平成一七年三月まで)

【ご協力をいただいた方々】（順不同）

岡山市立中央図書館・長島愛生園・長島愛生園入所者自治会・神谷書庫・愛生編集部・池内謙次郎・邑久光明園・邑久光明園入所者自治会・楓編集委員会・瀬戸内市・山陽新聞社・三宅克広・朝日新聞社・中外日報社・内池昭子・金澤奈津子・菊池恵楓園入所者自治会・神崎惠策・山陽映画株式会社・社団法人芝蘭会・岡山県立記録資料館・加子浦歴史文化館・邑久町史編纂委員会

【事務局】

保健福祉部健康対策課

課長

二宮忠矢

平成一四年六月～

課長代理

徳山雅之

平成一四年六月～一六年三月

感染症対策係 係長

柴田義朗

平成一四年六月～一五年三月

感染症対策係 係長
感染症対策班 総括主査

有田 裕

平成一五年四月～一七年三月

感染症対策班 総括副参事

山下祥嗣

平成一七年四月～

主査

妹尾安裕

平成一四年六月～一六年三月

主任

日覚紀子

平成一六年四月～一八年三月

長門祥子

平成一八年四月～

嘱託員

丹正貴和美

平成一五年四月～一六年一月

難波慶子

平成一六年四月～一八年三月

柏崎里佳

平成一八年四月～

『長島は語る 岡山県ハンセン病関係資料集・前編』

平成十九年二月二十八日 発行

編纂 岡山県ハンセン病問題関連史料調査委員会

ハンセン病問題関連史料調査専門員

発行 岡山県

印刷 ササベ印刷株式会社